

# 電動車制御部品に参入

## 5億円投じ工場増築

### MOVE ON精機

松村精機グループの自動車部品メーカー「MOVE ON精機」(高岡市長慶寺、松村浩史社長)は来春から、電動車向けの車両制御系部品の生産に乗り出す。月産2万個からスタートし、早ければ2026年に12万個まで増やす計画。新たな生産設備を導入するため工場増築を含め約5億円の投資を予定する。

(二川孝文)

カーボンニュートラルに向けた動きが世界的に加速する中、電動車に欠かせない部品の需要拡大が予想されている。増産するのは省

燃費化や自動運転に必要な制御系部品で、大手サブライヤーから受注した。電気自動車(EV)に加え、ハイブリッド車(HV)、プ

ラグインハイブリッド車(PHV)への搭載を見込んでいる。

制御系部品は、MOVE ON精機が得意とする鋳造技術「層流ダイカスト」を駆使して製造する。ダイカストは、溶融したアルミニウムなどの非鉄金属を精密な金型に高速・高圧で注ぐのが一般的。これに対し低速で注ぐ層流ダイカストは、製品内部にガスが流入しにくく、強度や品質を高められる特長がある。

3月下旬から、高精度な加工ができるマシニングセンターや、切削した後の部品から微細な異物を除去する高圧洗浄機など生産設備を順次増強。工場についても2025年までを2期に分けて、合わせて約千平方メートル増築する。同社は「培った技術を生かし、自動車の電



来春から電動車向けの車両制御系部品を生産するMOVE ON精機の工場—高岡市長慶寺

とやま経済

動化の一翼を担っていく。量産体制を実現し地域経済や雇用にも貢献したい」としている。

### 高効率乾燥機を増設

#### 野村木材 納期短縮供給強化

野村木材(南砺市井波、野村昌浩社長)は、同市専勝寺(井波)の工場に木材乾燥機1基を増設した。県産材の乾燥効率を高め、納期の短縮と供給体制の強化につなげる。3月下旬から稼働する。同社が保有する乾燥機は計4基となった。



野村木材が導入した新型の乾燥機  
—南砺市専勝寺

**C O<sub>2</sub>排出量可視化 脱炭素経営を支援**  
北銀とベンチャー協  
北陸銀行は16日、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を算・可視化するクラウドサービスを提供するベンチャー企業「アスエネ」(東京)と協力契約を結んだと発表した。取引先に同社のサービスを提供し、脱炭素経営を支援する。

新設した乾燥機は、高さ3・3メートル、幅2・3メートル、一度に最大40立方メートルの木材が乾燥できる

富山ターミナルビルは16日、初期費用なしで設備を導入できる北のサービスを活用し、18日開業する商業施設OT(マルト)に受変電設備を設置した。

北電グループの北陸エナジーソリューションズ所有し、マルトを運ターミナルビルは毎月を支払う仕組み。設備だけのリースと異なり理も料金に含まれ、故費用がかからない利点設備のエネルギー効